

戦争社会学研究会第4回例会（関東）

科研基盤 B「連合国のアジア戦後処理に関する宗教学的的研究—海外アーカイブ調査による再検討」（研究代表者中野毅）、
「宗教と社会」学会「戦争死者慰霊の関与と継承」研究プロジェクト第7回研究会との共催



慰霊するモノと人びと

—海外戦没者をめぐる記憶のエージェンシー—

戦地慰霊や遺骨収集といった、海外戦没者をめぐる記憶の営み。
誰が記憶し、何が慰霊を成り立たせているのか。

日時：2014年11月1日（土）13:00 開場、13:30～17:40

場所：東京大学本郷キャンパス法文1号館1階113教室

報告者・論題

浜井和史（帝京大学総合教育センター専任講師）

「可視化された海外戦没者—遺骨収集団の派遣再開をめぐって—（仮）」

君島彩子（総合研究大学院大学日本歴史研究専攻博士後期課程）

「戦没者慰霊と観音菩薩像—山崎良順の事例を中心に—」

中山郁（國學院大學教育開発推進センター准教授）

「死者と生者を結びつける人々—パプアニューギニアにおける戦地慰霊と旅行者—（仮）」

ディスカッサント：栗津賢太（南山宗教文化研究所研究員）

司会：西村明（東京大学文学部准教授）

なお、18:30より会場近くで懇親会を設けます。ご参加希望の方は、当日会場にて受付をします。

問い合わせ先：西村明（東京大学文学部宗教学宗教史学研究室、aquillax@gmail.com）